□議員名：山田伸幸

1　学校給食について

論点	市教委は、学校給食方式の決定を市長に丸投げしているが、これは市教委としても責任放棄につながらないか。
回答	市教委の方から市長に対して、4 つの方式を試算して市長に預け、財政面を市長が重視されて決定されたことであり、責任放棄には当たらない。

論点	給食センターの規模を 5500 食としているが、10 年後には 800 食が減るとされている。ムダな設備投資ではないのか。
回答	食数は減少してくるが、幼稚園などに供することも考えられる。

2　介護ボランティアポイント制度について

論点	近い将来、介護を必要とする人が大量に出てくることが予想される。これに備えて、誰でも介護の担い手になるように、身近な公民館を活用して健康推進委員を大量に養成することが考えられないか。
回答	毎年 50 名程度の健康推進委員を養成している。この方たちを中心に地域で活躍していただけるよう期待している。

論点	ボランティアをした人にポイントを付与しているが、この制度を地域通貨や民間で出回っているような買い物ポイントカードのようにして将来に向けて貯めていくようにできないか。
回答	地域通貨や買い物ポイントカードにしても、それぞれに一長一短があるので、今後検討して参りたい。

論点	新有帆大橋開通に伴い、今でも交通問題が深刻な公園通り周辺が大変な状況となることが予想される。対応策を考えているのか。
回答	山口県の方で、道路拡張に向けた現地説明会を予定されているので、協力していきたい。

論点	交差点からの渋滞が、周辺への細い道路を抜け道として利用が広が

	り危険な状態となっている。市としてどのように対応されるのか。
回答	周辺道路が抜け道として利用されている実態は把握している。対策の一つとして道路面に「スピード落とせ」のペイントをしていく。